

第五回 (四) 資本主義の発展

資本主義の発展は、世界を統一する力を持つに至り、列強の競争を激化させた。この競争は、弱肉強食の法則に従って進んだ。資本主義の発展は、人類の歴史を塗り替えた。...

宣言

第八回より一六〇を敢行す。に増して左の如く宣言す。欧陸大戦以来急速に没落して、ありし世界資本主義と合流を意欲せし、歐陸支配階級は其の没落を必死の努力を以て阻止せんとしてゐる。

見よ五十二歳會に於ける三党首の妥協と金融寡頭政治を尤も惡習に視はしてゐるのみならず、数年来かの執會に於て制定された多数を惡法を治め維持法暴力行為取締法、労働組合法、作法、健康保険法等々は惡法者階級に對する彈圧懷柔使分けの資本主義安定法に外ならず、かくして國內にはかゝる惡法の下に惡意階級に對する強圧なる採取と他方弱小民族への侵略植民地へのより苛酷なる採取とに依つて彼等の安定を維持せんとしてゐる。此の如く、弱小民族植民地への侵略は資本主義國家間の衝突を誘發し世界戦争へと必然に導き入れる。

吾等は斯う支配階級の行為に對し徹底的に抗争せんとす。その一は、今や支那の運、民族の自の解放、為に奮起する國民革命運動に對する列強の資本主義の懷柔とを見よ支那國民革命運動勝利の前には帝國主義國家間の衝突を打消して彼等が力。下に支那國民革命運動を奪滅せんとするもの、大吾等支那國民革命運動の勝利。為此の帝國主義國家間の干渉に徹底的に抗争するもの、吾等支那國民革命